

【米の販売動向調査の追加調査結果】

- 令和3年7月～4年1月の販売動向について調査した結果、前年の同期間に比べ1.21%増加。
- この結果を基に、11月の基本指針と同様に令和3/4の需要量を算出すると約7万トンの増加が見込まれる。
- 一方で、12月以降の新型コロナウイルス感染症の拡大による影響等、先行きが不透明なこと等を踏まえ、11月に設定した令和3/4年の需要見通しについては、変更を行わず「702～706万トン」とする。

【11月の基本指針における令和3 / 4 年の需要量の見通し】

- ・ 令和3年7月～10月の米の販売動向調査結果（10月は見込値）によると、この期間の販売量は前年の同期間に比べ0.65%増加。

- 令和3年7月～10月の販売動向調査結果
(単位：千トン)

	令和2年 7月～10月 ①	令和3年 7月～10月 ②	増減率 ②/①-1
販売量	1,332	1,341	+0.65%

- ・ 令和2 / 3年の市場流通見込み（565万トン）における販売量が0.65%増加すると仮定すると需要量は約4万トン増加する見込み。
- ・ 令和3 / 4年主食用米等需要量の見通しは、トレンド等から算出した需要量702万トンから、販売動向調査による需要増加量の約4万トンを加えた706万トンと幅をもって「702～706万トン」と設定。

【米の販売動向調査の追加調査結果】

- ・ 米の販売動向調査について、令和3年10月～4年1月を追加調査したところ、令和3年7月～4年1月の販売量は前年の同期間に比べ1.21%増加。

- 令和3年7月～4年1月の販売動向調査結果
(単位：千トン)

	令和2年度 7月～1月 ①	令和3年度 7月～1月 ②	増減率 ②/①-1
販売量	2,273	2,300	+1.21%

- ・ 11月の基本指針と同様の手法で需要量の算出すると約7万トン増加する見込み。
- ・ この増加分を考慮して令和3/4年の主食用米等需要量の見通しを設定すると、「702～709万トン」

- 米の販売動向調査対象者
：年間取扱数量4,000
トン以上の卸売業者238社
- 調査対象者の年間取扱数量
：令和2 / 3年；402万トン

【概念図】

生産量：723万トン
市場流通量 565万トン
農家消費等 158万トン

○ 令和3/4年の主食用米等の需給見通し

(単位：万トン)

令和3年6月末民間在庫量	E	218
令和3年産主食用米等生産量	F	701
令和3/4年主食用米等供給量計	G=E+F	919
令和3/4年主食用米等需要量	H	702 ~ 706
令和4年6月末民間在庫量	I=G-H	213 ~ 217

注：主食用米等需要量は、新型コロナウイルス感染症の状況や価格動向、コロナ影響緩和特別対策（特別枠）の販売・提供動向等によって、今後、変動する可能性がある。

令和3 / 4年の需要見通しは、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響等により、先行きが不透明なこと等から、昨年11月に米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針において定めた「702～706万トン」から変更を行わない。